

3) 2022年度事業計画

1. はじめに（定款より）

（一社）神奈川県労働文化センターは、神奈川県下の労働者の労働教育、文化活動及び余暇活動を積極的に推進し、もって労働者の経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 労働問題、文化教養及び保健衛生に関する講座の開催
- (2) 労働者の福祉活動及び余暇活動に関する調査研究及び資料収集
- (3) 労働者のレクレーション及び余暇活動に関する事業の開催及び器具の貸与
- (4) 神奈川県労働文化センターの建設及び管理運営
- (5) その他目的を達成するための必要な事業

2. 事業計画

(1) 継続事業（ホール・会議室利用促進）

- ①会議、研修会 会員・市民団体を対象に利用促進
- ②懇談会・懇親会 会員・市民団体を対象に利用促進
- ③その他 会員・市民団体を対象に利用促進

(2) 文化交流事業

- ①各外部団体等との交流 諸会議、イベントへの参加を通じて積極的に実施
- ②その他 会員・館内交流会に関しては政府・自治体による宣言、対策を勘案した上で、拡大理事会において開催可否を判断します。

3. 各種会議

(1) 総会

第65回定期総会

日時 2022年6月開催
 場所 文化センター第6会議室
 議事 2021年度事業報告・決算報告
 2022年度事業計画
 2022年度予算
 役員体制について（2年任期改選期）

(2) 理事会・在館者連絡会

理事会 — 6回/年 在館者連絡会 — 3回/年

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
理事会	○		○		○		○		○		○	
在館者					○		○				○	

4. 消防関係

神奈川県労働文化センターの入居者の生命と財産を守るため、率先して自主防災の体制強化に取り組みます。

(1) 消防訓練

消防訓練 6月 12月

(2) 自主点検

防災は入居者・利用者全員の意識と協力によって達成されます。自ら率先して防災に努力することを含め自主点検に基づき実施します。

(3) 消防設備等の法定点検の実施と不具合の早期改善

消防用設備の点検を確実に実施し、指摘事項については、早期の改善に努めます。

5. 賃借関係

(1) 貸事務所

2022年3月現在6団体が入居、空室1箇所については入居募集中。在館者連絡会の充実を図り、更に利用者の快適を追求し施設の改善に取り組みます。

(2) 貸ホール・会議室

2021年度はコロナ禍にあっても比較的堅調に利用者が伸長しました、引き続き会議室の利用は厳しい環境ではありますが、定期利用者の拡大、顧客の積極的な取り込みに努め、今年度目標を利用件数600件・利用収益を550万円とします。

(3) 貸駐車場

JR・理容会館からの賃借となっており在館者と一部を他団体の使用となっています。空スペースもあり契約拡大に努めます。

(4) 受益者分担金

電気・水道料金で入居団体および文化センターの受益者負担となっており、引き続き適切な費用分担、会館運営に努めます。

(5) 営繕関係

水道設備の改修は上期の早い時期に完了しますが、会館竣工後約50年を経過し設備の老朽化、不良化への対応を引き続き計画的、かつ応急的に対処していきます。そのため資金的な問題予測され、中央労金杉田支店からの借り入れを行います。

(6) 館内衛生対策

継続したコロナウイルス、冬季のインフルなど衛生面での対策を実施。日常清掃の実施、確認、定期的に防虫防鼠措置を行います。